

2024年 ポテトフォーラム

2024年12月5日

日本スナック・シリアルフーズ協会
会長 伊藤 秀二



本日の報告・発表

①ばれいしょをめぐる状況について

R5(概算)の北海道の作付面積割合、生産量ともに、昭和60年以降、過去最高に。種いも、シストセンチュウ対策は継続課題

②農研機構初のスタートアップ企業「農研植物病院」の果たす役割

“農業を強くする”を実現する。
輸出入検疫、国内流通向け自主検査診断、営農指導・コンサル・リカレント教育等

③ポテトチップスの動向

「未利用資源の活用」と「素材まるごと使用」
ポテトチップス市場のポテンシャルと更なる成長に向けてのチャレンジ

④バレイショの収量や病害発生への高温化の影響

高温化による収量、夏疫病、でんぷん価への影響の考察
種いもの萌芽不良への影響は継続研究

ポテトフォーラムの振り返り

ポテトゼミ
(2002. 06)

十勝ブランドを
世界トップレベルへ



馬鈴しょ需要
拡大を目指して

ポテトフォーラム芽室
(2002. 12~2005)

品質（打撲）問題
種いも／食の安全・安心



スコットランドの
馬鈴しょ事情と技術

ポテトフォーラム札幌
(2007~2017)

食文化の見直し
馬鈴しょの基礎研究
消費とマーケティング
安全・安心志向



国際イモ年
世界情勢の変化
T P P

ポテトフォーラム帯広
(2018)

労働力不足／自然災害
シロシストセンチュウ



世界馬鈴薯会議
スマート農業

ポテトフォーラム札幌
(2019)

種いも対策
シロシストセンチュウ
省人化・省力化



ゲノム編集
農産物輸出
原料原産地表示

ポテトフォーラム・動画配信
(2020~2021)

コロナ禍で何が変わっていくのか
馬鈴しょ産業



気候変動対応
新品種・育種の可能性

ポテトフォーラム札幌
(2022・2023)

ゲノム編集／育種・品種改良
環境・気候変動
消費者の声



サステナブルな馬鈴しょ振興
食料安全保障の構築



ポテトフォーラム札幌
(2024)

高温化の影響
ポテトチップス産業の動向



強い農業の実現
競争から共創へ

社会課題

気候変動など**自然資本への負荷**や**人権問題**

地政学的リスク

原材料価格や動力費の高騰

日本国内における課題

北欧は成長と幸福度を両立させる
経済・社会指標の各国比較



経済の成長率
賃金の伸び
労働生産性

男女の平等

	先進国平均	日本	米国	英国	フランス	ドイツ	デンマーク	フィンランド	スウェーデン
経済の成長率	2.24%	0.73	1.97	1.70	1.30	1.26	1.28	1.39	2.18
賃金の伸び	1.38%	0.09	0.96	0.93	1.03	0.90	1.18	0.91	1.59
労働生産性	58.27ドル	48.14	74.19	61.27	67.60	66.94	75.41	61.37	70.64
所得格差	0.31	0.33	0.40	0.37	0.29	0.29	0.26	0.27	0.28
貧困世帯の割合	11.0%	15.7	18.0	12.4	8.4	9.8	6.4	6.5	9.3
教育への投資	10.6%	7.8	11.5	11.7	8.5	9.2	11.4	9.7	12.0
男女の平等	0.76	0.66	0.76	0.78	0.78	0.80	0.77	0.86	0.82
社会の腐敗度	0.58	0.64	0.70	0.46	0.57	0.46	0.18	0.19	0.24
他者への信頼度	214.1	-62.0	223.0	376.8	205.4	173.1	521.3	420.2	522.2
健康寿命	70.7歳	74.1	66.1	70.1	72.1	70.9	71.0	71.0	71.9
治安	1.67	1.35	2.23	1.73	1.93	1.65	1.28	1.35	1.48
失業率	5.98%	2.53	5.21	3.87	8.48	3.44	5.26	7.27	7.16
幸福度	6.80	6.12	7.03	6.80	6.71	7.31	7.52	7.89	7.31

(注) IMF、OECD、国連、WHO、ILO、世界経済フォーラム、世界価値観調査、経済平和研究所のデータから作成。
OECD加盟の高所得国のデータを指標ごとに比べ、相対的な数値の大きさに応じて色分けした

(出典) 2022年1月1日 日本経済新聞朝刊

イノベーションを起こす！

農業で解決する日本の課題

- 少子化 高齡化
 - 孤独社会
 - 教育問題
 - 消費低迷
 - 新産業育成
-
- 2025年 世界の穀物市場は、200兆円で **2倍に！**
自動車産業は、250兆円で 1.25倍
 - 2025年 食肉、乳製品、加工食品など農業関連市場
は完全に自動車産業を超える！
- 

**日本は、地域の活躍によってのみ
持続可能性を高めることができる**

地方創生

大都市への集中を緩和
地方への施策 交付金 ふるさと納税
働き方の変化 インバウンドの増加
農業 観光 防災

**ばれいしょ産業は
課題解決のひとつでは！**

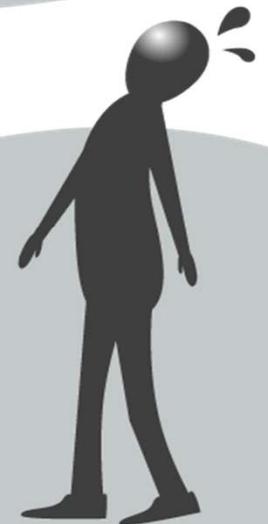




考えが正しくても

問題がわかってても

それが解決する訳ではない！



道徳なき経済は、犯罪である

経済なき道徳は、寝言である

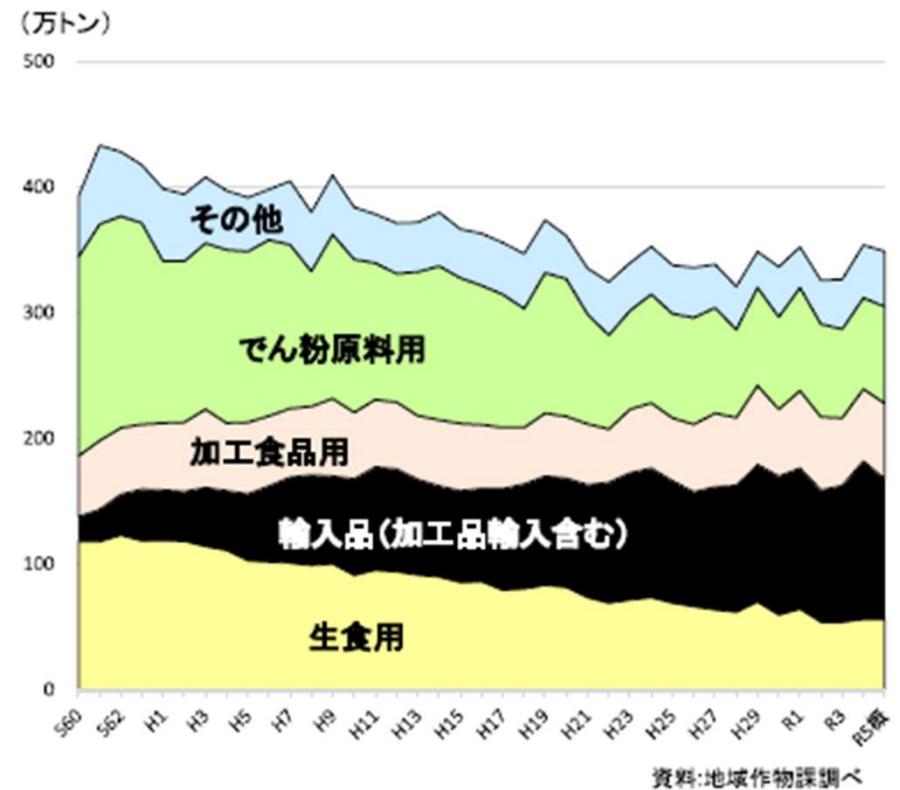
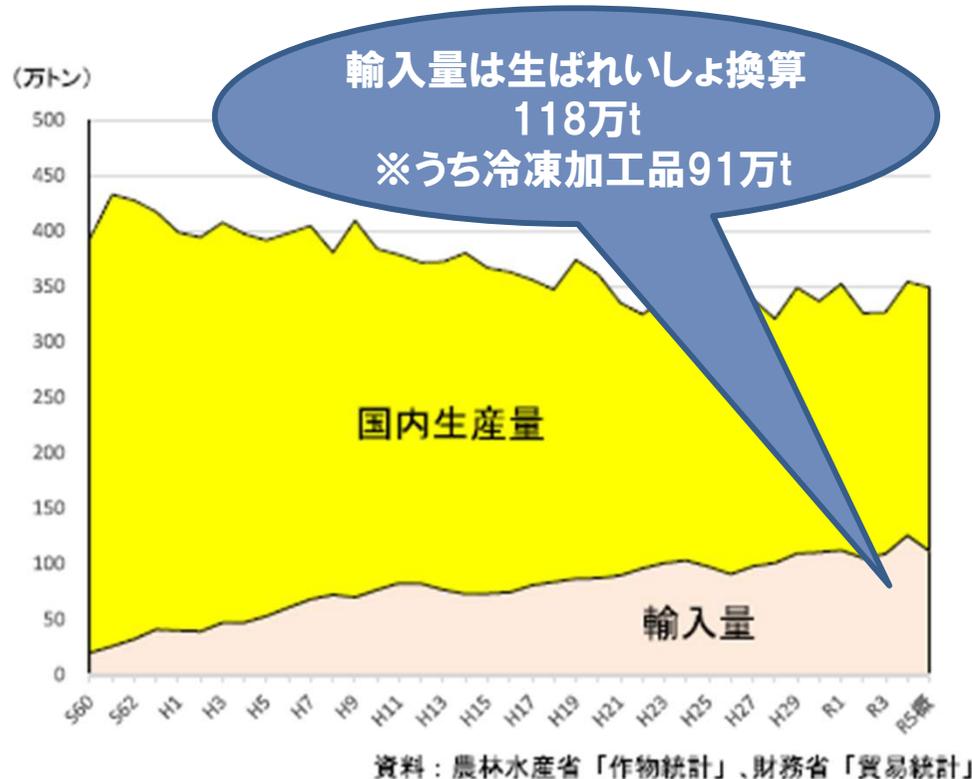
二宮尊徳



日本のばれいしょ産業の現状は？



ポテトの食用需要は増加していますが！



競争から「共創」へ



「競争」によって全体が成長するフェーズは終わりでは？

共創

共創により
全体の需要・価値を
増やすことに集中

それぞれのバリューを
正しく認識・理解することから始まる

ばれいしょ産業

どのようにしてより大きな価値を生みだしていくか!

第一次産業



第二次産業



第三次産業



需要と供給

供給課題にフォーカスがあたってきたが！



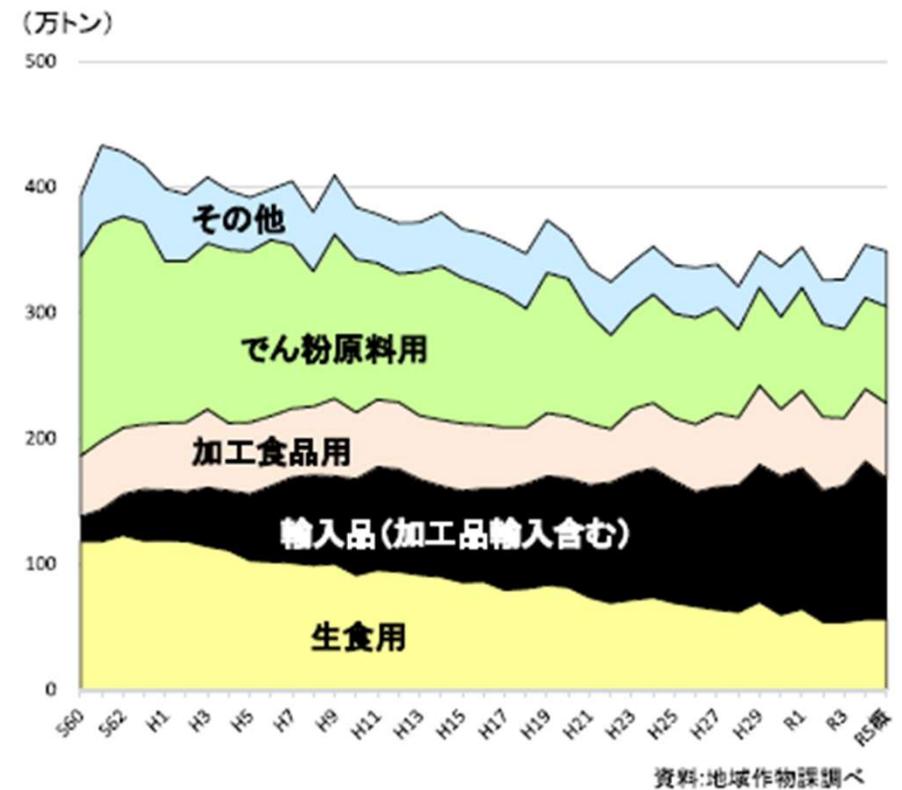
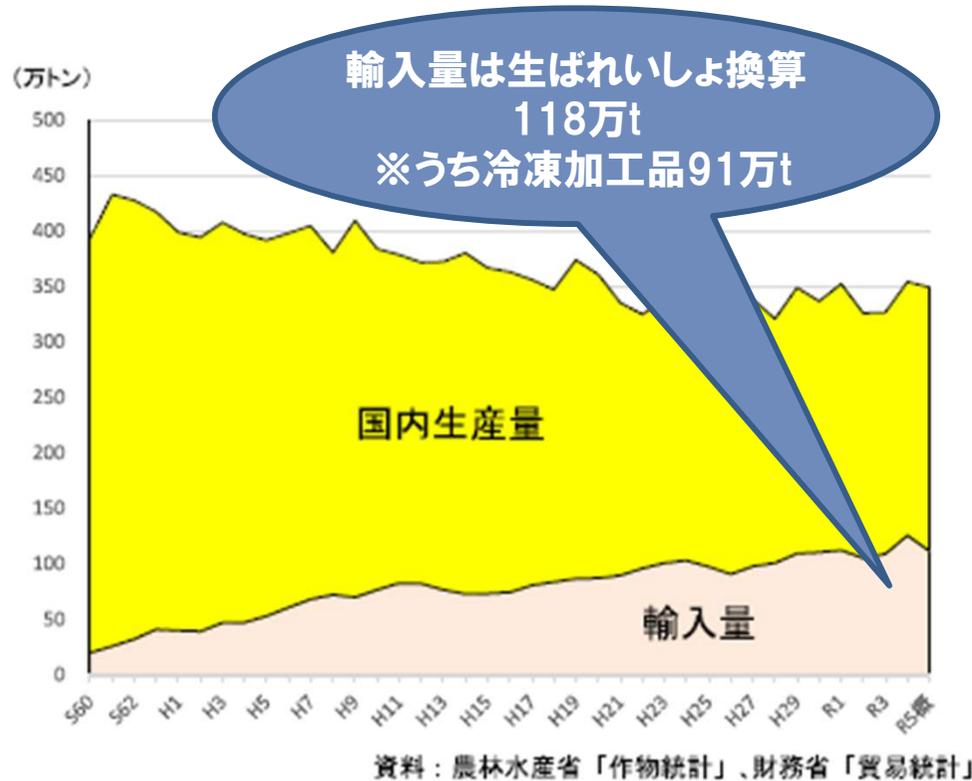
需要側の課題は？



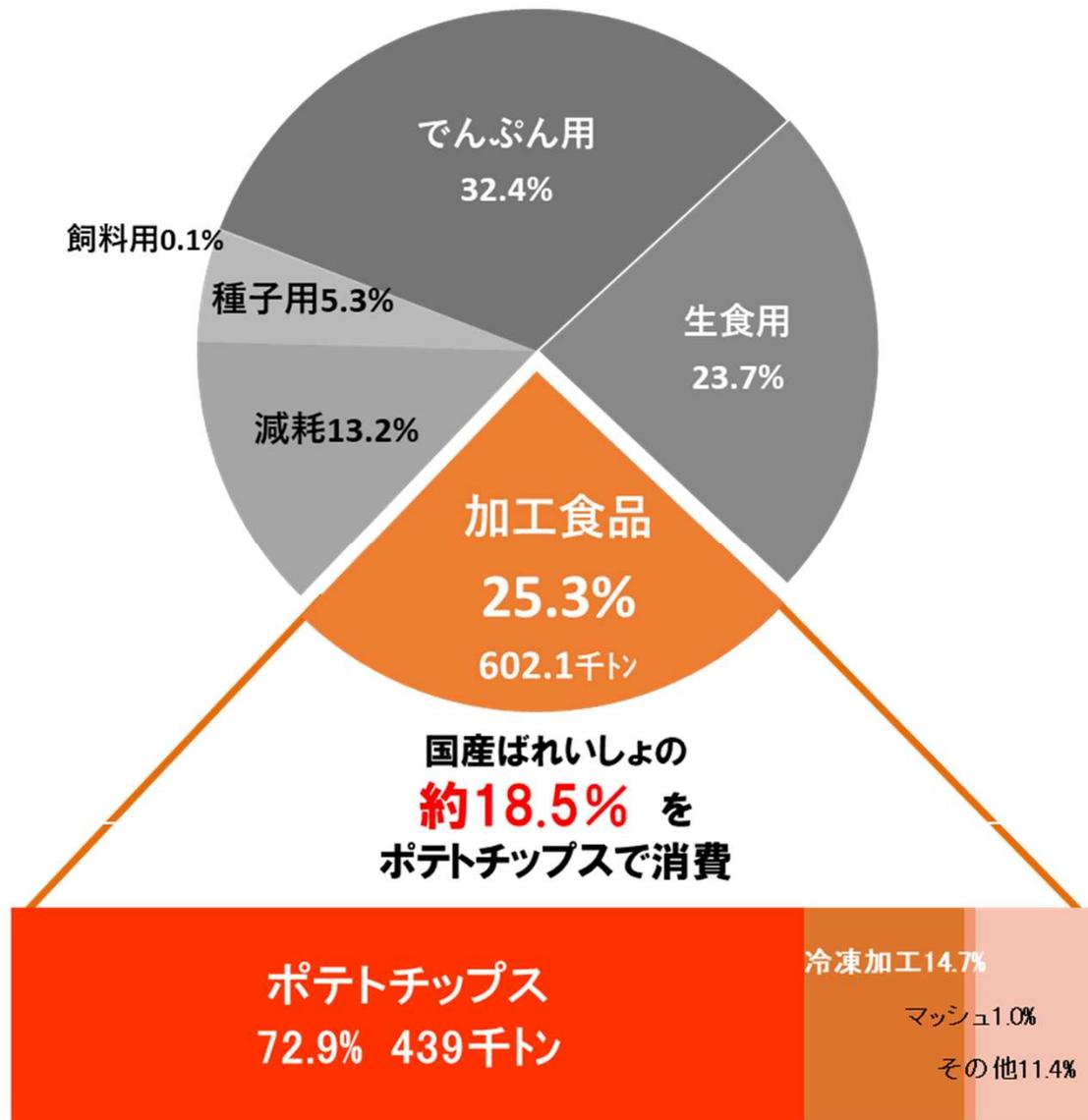
日本のばれいしょ産業の現状は？



ポテトの食用需要は増加していますが！



2023年 ばれいしょ用途別消費量（概算）



国産馬鈴しょ内訳	生産量 (千トン)	構成比
でんぷん用	771.4	32.4%
生食用	561.1	23.7%
加工食品	602.1	25.3%
減耗	314.2	13.2%
種子用	125.1	5.3%
飼料用	1.5	0.1%

加工食品内訳	生産量 (千トン)	構成比
ポテトチップス	439.0	72.9%
冷凍加工	88.4	14.7%
マッシュ	5.9	1.0%
その他	68.7	11.4%

※ 農林水産省資料より作成

ご清聴ありがとうございました。